

無石綿

NSグラウト

高性能無収縮グラウト材

公共建築協会評価名簿登録品

NSグラウトは日本道路公団の無収縮モルタル基準の物性を有します。特殊な石灰系膨張材を使用し、高流動性かつ無収縮性を有するプレミックスタイプの高強度グラウト材です。

特長

- 流動性に優れているため、空隙がなく完全な充填ができます。
- 初期の強度発現が大きいいため材齢3日までに実用強度が得られます。さらに強度増進特性にも優れており、材齢28日で圧縮強度が60N/mm²以上が得られます。
- ブリーディングの発生がない事や無収縮性に優れているため隙間の発生がなく、構造物との一体化が図れます。
- 高温・低温において流動性保持性能に優れたモルタルが得られ、効率的な施工を可能にします。

標準仕様

荷姿	C:S配合比	適用部位	J14流下時間	標準調合*	m ³ 当たりの使用袋数
25kg/袋	1:1	逆打ち工法、機械基礎、鉄骨ベース、橋梁支承、アンカー固定 耐震補強：鉄骨ブレース、鋼板巻立、増設壁、各種改修工事	8±2秒	清水 4.3~4.8ℓ	約74袋

注) *: スラリー温度5~35℃の範囲で所定のJ14流下時間が得られる調合です。

上記標準仕様以外の施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

性能

試験項目	試験結果	日本道路公団規格無収縮モルタル 品質管理試験方法 JHS-312規格	
コンシステンシー(秒)	9.1	8±2	
ブリージング(%)	0	2.0以下	
膨張収縮(%) : +は膨張を表す	+1.31	材齢7日で収縮しないこと	
凝結時間 (時間-分)	始発	5-33	1-00以上
	終結	7-30	10-00以内
圧縮強さ (N/mm ²)	材齢3日	37.1	25.0以上
	材齢28日	62.8	45.0以上
付着強さ(N/mm ²)	4.1	3.0以上	
塩化物量(kg/m ³)	0.007	0.30以下	

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

(財)ベターリビング

施工法

下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃等をおこなってください。

下地処理

下地コンクリート面は水打ちをおこない湿潤状態とし、余分な水は除去してください。

型枠準備

型枠はNSグラウトの注入圧力に負けない強固で緻密に組み立ててください。型枠の隙間および取り合い部にはNSグラウトが漏れないようにシールを施してください。

練混ぜ

最初に所定量(4.3~4.8ℓ)より少な目の水を容器に入れ、NSグラウトの粉体を徐々に加えながらハンドミキサー等で均一に練り混ぜる。最後に残りの水を加減しながら加え、3分を限度とし、2分以上練り混ぜてください。

*強度低下の原因となりますので、粉体と水の調割合を厳守してください。加水後の材料は夏季20分以内、冬季40分以内を使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。

*練上り温度が5~35℃の範囲内になるよう、材料および練混ぜ水の温度管理をおこなってください。

注 入

注入方法は現場の状況により流し込み、ポンプ圧入、ホッパーを用いた自重圧工法等で施工をおこなってください。注入は何の方法を用いた場合も必ず片側から連続しておこない、流出側からNSグラウトがあふれるまで注入してください。

養 生

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合、シート掛け等の養生をおこなってください。

*急激な乾燥は硬化不良・ひび割れの原因となりますので、施工後7日間程度は打設面を湿潤状態に保つよう、養生マット等で養生をおこなってください。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	409035
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/



使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問い合わせダイヤル **0120-974237**

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。

無石綿

NSグラウトP

パッド用無収縮モルタル

NSグラウトPは、成形性に優れたパッド用プレミックスモルタルです。高強度で無収縮なため、機械基礎、鉄骨柱などの据付けに最適です。

特長

- 酸化カルシウム系膨張材が配合されており、乾燥時の収縮がありません。
- 成形性に優れているため、現場での作業効率が向上します。
- 強度の立ち上がりが早いため、早期に次工程に移ることが可能です。
- ノンメタリックで、錆を発生させる原材料は含んでおりません。
- セメント、けい砂、無収縮材等を理想的にブレンドしたプレミックスタイプで、現場では水を加えて練るだけで高品質のモルタルが得られます。

標準仕様

荷姿	適用部位	標準調合	モルタル硬さ	練上り量	可使時間
25kg/袋	機械基礎、 鉄骨ベース	清水 約3.5ℓ	モルタルを手で握って 開いた時に形を保つ程度	約14ℓ	約20分

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

性能

試験項目		試験結果	試験方法
凝結時間(時-分)	始発	2-10	ASTM-C403T「プロクター貫入抵抗針を用いるコンクリートの凝結試験方法」
	終結	3-40	
膨張収縮率(%)	3日	+0.18	土木学会充てんモルタル試験方法(案) [JSCE-F542-1993]
	7日	+0.18	
	28日	+0.18	
圧縮強さ(N/mm ²)	3日	38.2	土木学会充てんモルタル試験方法(案) [JSCE-F542-1993]
	7日	48.1	
	28日	54.9	

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

日本化成(株)中央研究所

施工法

下地の清掃

下地コンクリート表面のほこり・油分・汚れ等をサンダー、スクレーパーおよびワイヤブラシ等で除去・清掃してください。

- *付着力低下の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。
- *コンクリート表面の硬化不良部は、その厚さが2mm以下の場合、ワイヤブラシ等で除去してください。
- *コンクリート表面の硬化不良部の厚さが2mmを超える場合、ならびにその範囲が広い場合は係員と協議し、適切な措置を講じてください。

下地処理

下地コンクリートへの吸水を調整するため、NSグラウトPの設置箇所に水湿しをおこなってください。

- *下地が極度に乾燥している場合は、NSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を塗布してください。
- *水湿しは、下地の表面が飽和状態となるようにおこない、水溜りがないようにしてください。表面に水湿しの水が浮いていると、付着力が低下する恐れがあるので溜り水は、ウエス、スポンジ等できちんと除去してください。

練混ぜ

最初に所定量(3.5ℓ)より少な目の水を練り混ぜ容器に入れ、ハンドミキサー等でかき混ぜながら粉体を徐々に加え、まま粉ができないように均一に練り混ぜてください。最後に、最適な軟度(モルタルを手で握って開いた時に、その形を保って崩れない状態)になるように水量を調整してください。

- *接着不良や強度低下の原因となりますので、粉体と水の調割合を厳守してください。
- *最初の練り混ぜは3分程度を目安とし、それ以上はおこなわないでください。
- *加水後の材料は夏季20分以内、冬季40分以内に使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。
- *練上り温度が5~35℃の範囲内になるよう、材料および練混ぜ水の温度管理をおこなってください。

打設

所定の位置にNSグラウトPを置き、鍬、突き棒等を使用して少しずつ突き固めながら成型してください。突き固め層が厚い場合は、数回に分けて突き固めてください。仕上げは現場係員の指示に従い、金ごてで表面を均し所定のレベルに調整してください。

- *一度に突き固める層の厚さは50mm以下としてください。突き固め層が50mmを超える場合は、数回に分けて突き固め、打設間隔は1日以上空けて打ち継いでください。打ち継ぎは、必ず水湿しを確実にこなった上で実施してください。
- *一度に多量のモルタルを突くと空隙が多くでき、強度が低下する恐れがあるので、少量ずつ追加しながら突き固めてください。
- *中心塗りモルタルの形状は直径200~300mmの円形が望ましいですが、詳細は現場係員の指示に従ってください。

養生

通風や直射日光を避け、屋内では開口部の閉鎖、屋外では湿潤状態を保つように湿らせた布やビニルシート等で表面を覆って養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合、シート掛け等の養生をおこなってください。

- *施工後3日間は荷重をかけないでください。
- *施工後3日以上は養生をおこなってください。
- *冬季においては、凍結しないように施工後3日間は保温養生をおこなってください。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0512068
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/



使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、4ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問合わせダイヤル ☎ **0120-974237**

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。